

たかおか 整志会

TAKAOKA SEISHIKAI

| 広 | 報 | 誌 |
2025
新年号
No.73



日の出(高岡市 雨晴海岸)

雨晴海岸より、富山湾越しに見る3000m級の立山連峰の稜線から昇る日の出は圧巻です。

撮影者：栄養管理科 小野 悦子

CONTENTS もくじ

- 2 巻頭言 澤田利匡院長
- 3 第39回院内研究発表会
- 4 整志会いきいき健康セミナー
- 5 病院機能評価を終えて
- 6 新任医師紹介
新人紹介
職員旅行
- 7 忘年会
秋の消防訓練

高岡整志会病院 基本理念

- 1.市民の健康・医療・福祉の向上を目指し、明るい豊かな生活の実現に貢献します。
- 2.職員が生き生きとして豊かにその使命を発揮する場を作り、患者さんが迅速に社会復帰できるように努めます。
- 3.整形外科専門病院として、すべての患者さんの尊厳と権利を尊重し、最先端の技術で患者さん中心の治療を実践します。



日本医療機能評価機構認定病院

巻 | 頭 | 言

The greeting of the beginning of a book

「高度な平凡性」の維持

院長 澤田 利匡



戦後80年が経過し、この国を取り巻く環境、経済は大きく変化しました。特に産業の情報への依存が急激に高くなった近年は、人々がそれを有効活用しようと必死です。それに比べれば日本の医療環境やコンセプトは私が医師になったころとほとんど変わらず、確かにデジタル化と医療機器の進歩で技術や治療診断精度は改善しましたが、医師、コメディカルの就業内容は、おそらく「昭和」と変わっていないのではないのでしょうか。戦後の栄光と挫折の「昭和」は医療に関してはその後の平成、令和に暗い影をおとしているように思えてなりません。

その昭和でおきた太平洋戦争の日本敗戦の原因を分析した「失敗の本質」(ダイヤモンド社)という本がありますが、その中でアメリカ軍は、日本軍には「high level of mediocrity」、訳すと「高度な平凡」といわれる、平均的な兵士に最大のパフォーマンスを遂行させるシステムがなく、逆にアメリカ軍はこのシステムを構築するのにあらゆる分野で考え抜いて勝利したと解説しています。つまり「どうしたら無理なく成果を出せるシステムを作れるか？」と考えたアメリカ軍に対し、「どう無理をしたら勝てるのか？」と考えたのが日本軍ということです。そのためいわゆる名人芸を持った兵士が軍で重宝されましたが、それを生み出すシステムは無く、彼らが消えていくので、戦争の結果はご覧のとおりとなりました。

もうお分かりと思いますが、日本社会は上記の構図が継続しており、とりわけ医療の分野の「無理やり度」が桁違いです。国の制度がこれですから、個々の医療機関の運営も同じ状況が継続したままです。「無理なく成果を出すシステム」を医療機関で生み出すのは困難といえるでしょう。

しかし昭和生まれの、今年で40歳となる整志会病院は、これまで無理をしなればいけない時期もあったかもしれませんが、実は「高度な平凡性」があることで幾多の困難を乗り越えてきたと思います。それは当院創始者である、川岸利光医師の医療へのコンセプトが組織に浸透した結果です。しかし今後そのtopが変われば失われてしまうシステムではいけません。

この度院長を拝命した私ですが、これまでの当院のシステムを検証し、改善することで、今後も当院が患者さん、医療従事者に選んでいただける組織であるよう、鋭意努力する所存です。以上簡単ですが年始巻頭言の挨拶とさせていただきます。



第39回院内研究発表会

令和6年12月14日(土) 於:ホテルニューオータニ高岡 〈月例委員会〉

今回第39回を迎え、今年のテーマは「Together As One ～心をひとつにして～」としました。チーム整志会としてこれまで以上に心をひとつにして邁進していこう！という思いと、整形外科に特化した病院としてトップ＝ONEを掴み取っていこうという目標、また本年より院長が交代となり、チーム力を強固にし院長を支えていこうという思いが込められています。発表会当日は緊張を交えながらも、研究から論文作成まで各チームで協力し、活発に質問や意見交換し研究の成果を讃え合いました。



川岸理事長



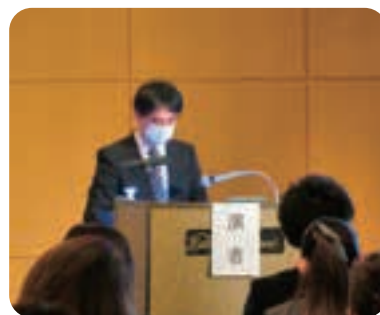
演者: 澤田院長



総合司会
松永真弓 看護主任



神谷麻酔科痛み緩和診療部長より質疑



演題

1. 病棟薬剤業務実施加算取得を視野に入れた持参薬業務の実態調査
～業務効率化と満足度アップを目指して～
薬剤科 後藤 益生
2. 弾性ストッキングによる皮膚障害予防のために
～保湿クリームの効果～
病棟B 扇割 達也
3. 患者に対し行動変容を促すアプローチについての研究
病棟D 大杉 幸子
4. 医事課におけるシステム障害への対応と備え
医事課A 神谷 玲那
5. 腰椎側面撮影用補助具の製作と有用性
画像技術科 亀沢 仁恵
6. 人員変動に対応可能な体制づくり
医師事務作業補助室 関 広美
7. 手術室における申し送りについての調査
手術室 尾崎 竜英
8. 患者の「より良い在宅復帰」を目指して
地域医療福祉連携室 濱手 里美
9. 医事課育成プログラムの活用
～さらなる成果向上を目指して～
医事課B 吉澤 香織
10. 手術が決定した患者の時間的負担軽減に向けて
外来 深田由莉亜
11. 人工膝関節全置換術患者の運動機能と患者立脚型評価法
リハビリテーション科 沢崎 亨
12. 摂食嚥下障害に対する食事提供の在り方
栄養管理科 宮本 恵子
13. 電子カルテのシステムダウンに備えて
診療情報管理室 金川 瑞希
14. インシデント・アクシデント事例報告の意識調査 2
医療安全管理室 中一 真優
15. 間欠的空気圧迫装置に対するストレス調査
院外 小川亜津子
16. 騒音対策について ～騒音の実態調査～
病棟A 米田 結香
17. 県外から来院される入院患者の満足度調査
病棟C 小久保真由
18. ユニフォームに対する意識調査
病棟E 高尾 亮輝
19. 電気料金値上げに対する施策とその後から
混合チーム 釣井 光一
20. 当院における90歳以上の脊椎手術症例の現状
医局 澤田 利匡

整志会いきいき健康セミナー

健康寿命を延ばそう！

令和6年11月9日(土) 於:富山新聞高岡会館

富山新聞文化センター健康講座「整志会いきいき健康セミナー 健康寿命を延ばそう！」と題して市民公開講座を行い、約90人が参加されました。

講演では、澤田診療部長(当時)が「背骨のいたみの治療」と題し講演しました。心臓や筋肉を動かすには血中にカルシウムが必要で、一定の骨量を維持しなければならない。高齢者は骨を作る細胞の働きが若いときより弱くなるため、骨の量が減り、骨粗しょう症や骨折が起きやすくなる。高齢者の骨折は再発しやすく命にかかわる問題のため健康維持には毎日、運動することが重要だと話しました。また沢崎主任は健康体操を紹介し、会場全体でかかと上げなどの動きに取り組みました。

リハビリスタッフは「立ち上がり」「2ステップ」「歩行能力」「バランス」の各テストを行い、ロコモティブシンドローム(運動器症候群)チェックと運動器不安定症の確認をしました。そのほか血圧、体脂肪、筋力、骨密度の測定をしました。個別相談では医師、看護師、管理栄養士、理学療法士に参加者が普段気になっている事を直接相談し、熱心に聞いておられました。アンケートからは「澤田先生のお話に共感しました。健康体操が大変良かったです。」などの感想をいただきました。

次回開催時も多くの方にお越しいただき、健康に気を付けて生活していただけるよう企画していきます。



ふれあいマジックショーの開催

マジシャンの南友蔵さんによる「ふれあいマジックショー」を開催し、入院患者さん27名を含む約50名が参加されました。千円札を一瞬で一万円札に変えたり、紙袋に入れたコーラの瓶を跡形もなく消したり、様々なマジックに会場内は歓声と拍手の連続!! 感動して涙する患者さんもおられました。終了時には「とても楽しかった。」「楽しさあり、笑いあり。しばしの間、苦痛を忘れさせてくれました。」「また見たい。」との感想をいただきました。入院生活の中にひとときのやすらぎの時間を感じていただけたことを嬉しく思います。

令和6年11月29日(金) 〈業務改善委員会〉



病院機能評価を終えて

麻酔科・痛み緩和診療部長 神谷 和男

2024年6月14～15日、病院機能評価審査が行われ、先日その結果報告書を頂いた。ほとんどの項目が、A：適切に行われている、であり、ホッとしたのが正直な感想である。当院での病院機能評価は、5回目であり、小生が病院機能評価委員会の委員長を務めて2回目となる。5年前とほぼ同じメンバーで審査に臨んだため、前回と比べてやや緩かったかもしれないが、十分に取り組んだと思っている。病院管理会議で川岸院長（当時）より「月日が経つと組織は同じことを行っていると衰弱していく。こういう監査の機会をもって、それに向かっていくことは大事である」と述べられたが、これが審査を受ける根底にある。5年後は次世代のメンバーで、臨みたいと考えている。



ケアプロセス調査



令和6年度3病院研修会

令和6年9月21日(土) 於:熊本ホテルキャッスル
総務課長 柴田 真由美

令和6年9月21日に熊本県の成尾整形外科病院、大分県の川島整形外科病院と当院での3病院研修会に参加しました。この研修会は整形外科専門病院が集まる貴重な場であり、今年度は「令和6年度診療報酬改定における各病院への影響と取り組みについて～将来を見据えた病院運営の方向性や在り方～」というテーマで部門ごとに活発な意見交換が行われました。厳しい医療環境の中、選ばれる病院であるためには、さらなる病院の総合力アップが必要です。どの病院も患者さんが安心して医療を受けられるよう努力し取り組んでいる話を聞くことができ、大変有意義な研修会でした。幹事病院の成尾整形外科病院の皆様には感謝申し上げます。



部門別分科会：医局



熊本ホテルキャッスルにて

看護部救急シミュレーションについて

令和6年9月13日(金) 於:手術室

今年度の救急シミュレーションは手術室での急変対応を行いました。第一のケースは手術中に急変したことを想定し、手術室スタッフがメインの演者となって行いました。このシミュレーションでは、手早く創部を保護し、仰臥位に戻して心臓マッサージを行う方法を確認しました。また、第二のケースでは、帰室時に急変したことを想定し、手術室と病棟との連携を取れるようになることと、病棟スタッフも手術室で急変対応ができるようになることを目的として行いました。どのケースも初めての試みとあって、演者も見学者も学びが多かったと思われます。救急対応はどの場面で起こるか予測不可能なため、全てのスタッフがどの場所でも対応可能のように今後も訓練して行きたいと思います。



新任 医師紹介

長沖 隼英



令和6年10月より整形外科医として勤務しております長沖隼英と申します。生まれは鹿児島県でその後各地に引っ越しを繰り返し、函館ラ・サール高校を卒業後に弘前大学に入学いたしました。大学卒業後は弘前大学整形外科科学講座に入局し、青森県や秋田県の病院に従事しておりました。現在は脊椎外科を専門とするため勉強中です。幼いころから水泳をやっておりましたが、社会人となってからは中断していました。このたび10月より水泳を再開し現在順調に減量中です。

至らない点も多々ありますが、何卒よろしくお願いいたします。

新人紹介



医師事務作業補助者
作井 志帆

10月より医師事務作業補助室にて勤務させて頂いております。まだまだ至らぬ点も多々あると思いますが、周囲の方々からの教を糧にし、少しでも早くお力になれる様尽力致します。よろしくお願い致します。



看護補助者
岡津 周子

12月より2病棟で勤務させて頂いております。慣れないことばかりで緊張の毎日ですが、笑顔を忘れず頑張ります。ご迷惑をお掛けすると思ひますがよろしくお願い致します。



看護補助者
中条 敬子

11月より、2病棟にて勤務させて頂いております。新しい環境で不慣れな点もあり、ご迷惑をお掛けしますが、まわりの方々からの教を糧に少しでも早くお力になれるように頑張りますので、よろしくお願い致します。

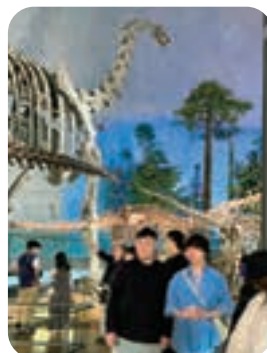
職員旅行

看護主任 松原 知世

令和6年9月16日から10月27日まで、総勢73名で4班に分かれて、1泊2日の日程で福井県あわら温泉と福井観光の旅へ行ってきました。今年3月に、北陸新幹線が敦賀まで延伸し、福井を代表する観光名所は大勢の観光客で賑わっていました。あわら温泉では美味しい料理と温泉を楽しみ、丸岡城、福井県立恐竜博物館、永平寺など福井の歴史と文化を堪能してきました。また、職員同士の親睦が深まりこれからの業務への励みとなりました。



丸岡城



恐竜博物館



永平寺

忘年会

令和6年12月14日(土) 於:ホテルニューオータニ高岡 〈企画委員会〉

1年間の締めくくりとして、今年度も当院恒例の忘年会を盛大に行うことができました。余興では、当院の熱きメンバーの趣向を凝らした歌が披露され、盛大に盛り上がりました。そして、リバーサイドによるクリスマスソングを含めた新曲など素晴らしい演奏のおかげで、1年間の疲れを吹き飛ばすことができました。この職員の団結力を強みに、2025年も笑顔溢れる1年にしていけたらと願っております。皆様のご協力のもと、無事忘年会を開催することができたことを、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



歌って踊って (^^♪



ウルトラソウル! ヘイ!



瀬川関節外科部長 乾杯!



♪ 雨は夜更け過ぎに～♪



明日があるさ 大合唱 🎤

秋の消防訓練

令和6年11月15日(金) 〈防災管理委員会〉

年に2回実施している消防訓練の2回目を実施しました。今回の消防訓練も感染症対策を十分に行い、スタッフ協力のもと無事に訓練を終えることが出来ました。今年は元日に能登半島地震がありましたが、発生したのは日勤帯でした。今回は震災以降、初めての日勤帯の出火を想定した自主消防訓練を実施しました。その場で状況を判断し、参加者同士で役割を割り振り、それを実行するなどより実践に近い訓練ができました。参加者は慌てることなく、迅速な対応ができていました。今後も、いつ起こるか分からない震災に備えて状況に応じた対応ができるように訓練を継続していきたいと思います。



学 術 活 動 2024年9月～12月

◆第57回日本薬剤師会学術大会

2024年9月22日～23日 さいたまスーパーアリーナ

「当院の外来処方適正化に向けた取り組み その後～院外処方チェックの効率化と薬剤事務へのタスクシフト～」

○篠田健一、川原由紀子、後藤益生、久保智子、上坂真依子、藤井佳奈枝 (薬剤科)

◆第34回日本医療薬学会年会

2024年11月2日～4日 幕張メッセ・国際会議場・展示場

「当院における術後内服薬の処方状況調査と薬剤師の取り組み～整形外科専門病院における内服鎮痛薬のトリセツ～」

○篠田健一、川原由紀子、後藤益生、久保智子、上坂真依子、藤井佳奈枝 (薬剤科)

◆日本臨床麻酔学会 第44回学術集会

2024年11月21日～11月23日 京王プラザホテル

「腰椎椎間板ヘルニア術後アセトアミノフェン定時2回静注が術後フェンタニル使用量と有害事象に及ぼす影響」

○神谷和男、畠山登、坂巻緑 (麻酔科)



地域における「かかりつけ医」から整形外科専門病院として、

■ 患者さんの権利

1. プライバシーと尊厳が守られ、差別なく公平な医療を受けることができます。
2. 十分な説明と情報提供を受けたうえで、治療方法などを自らの意志で決めることができます。

～個人情報保護法について～

当院では、個人情報保護管理委員会を設置し、患者さんの個人情報保護に全力で取り組んでいます。ご意見、ご質問は総合受付へお気軽にご相談下さい。

■ 外来診療担当医師のお知らせ

2025年1月4日より

		月	火	水	木	金	土
午前	整形外科	8:00～12:00				8:30～12:00	7:30～12:00
		川岸 (脊椎・整形一般)	澤田 (脊椎・整形一般)	田中 (脊椎・整形一般)	川岸 (脊椎・整形一般) 中原 9:00～12:00 (手外科・整形一般) 第2・4木曜日8:00～9:20 中野(予約制)	長沖 (整形一般) 9:30～12:00	川岸 第1 澤田 第2・5 田中 第3 金粕 第4
		澤田(新患) (脊椎・整形一般)	瀬川 (関節・整形一般)	金粕 (膝人工関節専門・整形一般)		川岸 (脊椎・整形一般)	
	関節外科					第1・3金曜日 9:30～12:00 瀬川(予約制)	
	側弯外来						第2・4土曜日 9:00～11:00 関(予約制)
	痛み緩和 診療外来					第2・4金曜日 9:00～11:40 神谷(予約制)	
午後	整形外科	2:00～6:00 田中 (脊椎・整形一般)	2:00～6:00 澤田 (脊椎・整形一般)	2:00～6:00 金粕 (膝人工関節専門・整形一般)	2:00～6:00 瀬川 (関節・整形一般)	休診	
	股関節外来			2:00～5:00 高橋(予約制あり)			
	慢性の 痛み外来		2:00～6:00 畠山(予約制)				
	痛み緩和 診療外来			第1・2・4・5水曜日 3:00～5:00 神谷(予約制)	2:00～6:00 神谷(予約制)		
	発熱外来	1:00～2:00 川岸利臣(予約制)					

- 午後の診察の受付は午前より行っています。
 - 午前(月～木)の診察は、手術により12時以降は他の医師の診察となる場合がありますのでご了承ください。
 - 担当医師が学会等で不在や診療時間が急に変更になる場合がございますので、事前にお問い合わせください。
- 電話によるお問い合わせ 月～木 9:00～17:00、金・土 9:00～12:00

病院周辺図



◆あいの風とやま鉄道で高岡駅下車

古城公園口(北口)より約700m 徒歩約8分

◆北陸新幹線で新高岡駅下車

新高岡駅より約3km タクシーで約10分

※新高岡駅～高岡駅間は、
城端線で約5分、バスで約15分

〒933-0039 富山県高岡市大手町 8-31

TEL (0766) 22-2468

FAX (0766) 26-7948

編集後記

1月より新院長を中心とした新しい体制のもと、さらに患者さんの信頼を得られるよう、引き続き努力して参ります。

ホームページに
アクセスできます

